



BβEテルH通E信

2026年10月号（第279号）

松山ベテル病院 松山市祝谷6丁目1229番地 Tel089-925-5000

ホームページ <https://www.bethel.or.jp/>

LAVENDER RING について

LAVENDER RING は、ある企業の社員の有志が立ち上げた、がんを経験しながら生きるがんサバイバーのためのプロジェクトです。がん医療の進歩により、治療をしながら社会生活を両立できるようになりましたが、後遺症や将来の不安、元の生活や仕事（就労）のことなど身体的、精神的、社会経済的な問題を抱えているという体験をしている人は多いと思います。このプロジェクトは、すべてのがんサバイバー、そのご家族が笑顔で生きられる社会を目指して2017年から始動し、現在も活動しています。始まりは、この企業の社員さんががんを患い職場全体で支えた経験が原点になっていて、がんのイメージそのものを変えたいという思いから生まれたのだそうです。恥ずかしながら私はこのプロジェクトのことを全く知りませんでした。去年所属している学術集会の企画をすることになって初めて仲間から教えてもらいました。まず驚いたのはそのホームページに出てくるサバイバーの人々の笑顔がすごく良く、2分ほど動画での語りもとてもキラキラしているのです。その笑顔は「患者」ではなく、「自分らしく輝く人」なのです。

サイトの内容はどれも素晴らしいものばかりなのですが、特に「わたしあの時シャッター押しました <わた押>」では、「同じ景色でも病気になってからは見え方が違う」をコンセプトにサバイバーの皆さんが撮影した写真に関する文章が添えられています。例えば、抗がん剤の副作用で台所の横のリビングに布団を敷いて寝ている角度から撮影した写真では、小さな子供達だけで食事を摂れている親としての驚きや喜び、ごはんを作って持ってきてくれた友人への感謝のコメントが添えられておりその時の思いが伝わってきます。すべて紹介できないのが残念ですが、ベテル通信を読んでくださった皆様にも LAVENDER RING のウェブサイトをご覧いただきたいと思います。インターネットで「LAVENDER RING」と書いて検索していただければ、すぐウェブサイトにとどり着けます。

LAVENDER RING を見て、人間は困難にあったとき、これまでに培ってきた経験、大事な人々とのかかわりから自分の大切にしたいことに思いを馳せ、力に変えていることに気づかされました。看護はそれを引き出していく仕事なのだろうと思います。

（がん看護専門看護師 上杉 和美）



六君子湯と四逆散

六君子湯(りっくんしとう)

中国医学では、脾胃を強化する代表的な処方です。脾胃とは、消化吸収にかかわる全般的な機能のことです。

<出典>万病回春。万病回春は中国・明代の医師によって著された医学書で、ツムラの製品の中にもいくつか採用されています。

<成分>人参・白朮・茯苓・甘草・陳皮・半夏の六味です。ツムラでは白朮がソウジュツとなり、あと大棗と生姜が加わっています。

<ツムラエキス剤の使用目標>比較的体力の低下した人が、胃腸機能が低下して、食欲不振、心窩部の膨満感などを訴える場合に用いるとなっています。

<臨床>私は、経管栄養を投与した後下痢や水様便となってしまう患者さまによく使用しており、効果はまずまずのように思います。下痢や水様便が改善してくると、だんだん量を減らしていくことができます。

また、中医学では、からだの根本は、脾胃の消化吸収能力によるので、その機能を持ち上げて、肺や腎など他の臓器の治療をするときにも使用します。

六君子湯にはたくさんの加減方がありますが、柴芍六君子湯という処方があります。六君子湯に、柴胡と芍薬を加えたものです。ツムラのエキス剤に四逆散があり、完全に一致するわけではありませんが、六君子湯に合方すると、それに近いものになります。

四逆散(しぎゃくさん)

傷寒論の処方で、“第七章 少陰病の脈症ならびに治を弁ずる 第318条”に記載されています。少陰病になって手足が冷える(四逆)、あるいは咳し、あるいは動悸し、あるいは小便が少なくなり、あるいは腹が痛み、あるいはしづりばらで下痢(泄利下重)するものは、四逆散の主治である。

<成分>柴胡・芍薬・枳実・甘草の四味です。

少陰病は冷えている病態ですが、四逆散の症は、気の巡りが悪くて手足が冷たくなっているだけで本来は少陰病には分類されるところではありません。薬の成分自体には冷やしたり温めたりする作用がそれほどなくて、そういった意味では、わりと使いやすい処方かと思います。気をめぐらす作用があるため、体力のない人に長期的に使うと、消耗してしまう恐れがあります。条文によると、咳・動悸・排尿困難・腹痛・下痢などで、ストレスが原因となっている症状などに使えそうです。

<ツムラのエキス剤の使用目標>体力中等度もしくはそれ以上の人で、胸脇苦満、腹直筋の攣急があり、イライラ、不眠、抑うつ感などの精神神経症状を訴える場合に用いるとなっています。

中医の五行論では、肝の木性が脾の土性を破るとされており、肝の鬱々とした気が脾の機能を傷害するため、胃腸の治療をする際には、肝の気の巡りの改善が必要になると考えます。前述の六君子湯に、四逆散を加えることで、ストレス誘因の胃腸の不具合に対する効果が期待できます。



事業所紹介

医療法人聖愛会は松山ベテル病院の他に6つの事業所があります。今回はその中のベテル在宅ケア事業部「ベテルケアプランセンター」から投稿いただきました。



ベテルケアプランセンターのご紹介

ベテルケアプランセンターは、松山ベテル病院の1階にある指定居宅介護支援事業所です。介護を必要とされる方が、住み慣れた地域やご自宅で、その人らしい生活を安心して続けていただけるよう、介護支援専門員（ケアマネジャー）が一人ひとりに寄り添いながら、生活全般を支援しています。

介護が必要になったとき、「これからどのように生活していけばよいのか」「どのような介護サービスを利用できるのか」「家族だけで介護を続けることができるだろうか」など、さまざまな不安や悩みが生じることがあります。私たちは、ご本人やご家族のお話を丁寧に伺い、心身の状態だけでなく、これまでの暮らしやご希望、生活環境、ご家族の状況なども大切にしながら、必要な支援を一緒に考えていきます。

ケアプランの作成にあたっては、ご本人の「こうありたい」「これからも続けたい」という思いを尊重し、できることを大切にしながら、自立した生活につながる支援を目指します。訪問介護、通所介護、訪問看護、福祉用具など、必要に応じてさまざまな介護・福祉サービスにつなぎ、関係する事業所や医療機関などとも連携しながら、安心して在宅生活を送ることができる環境づくりをお手伝いします。

また、介護サービスを利用することが初めての方にも、制度やサービスの内容を分かりやすくご説明し、ご本人・ご家族が納得して選択できるよう支援します。介護保険の申請や更新、サービス利用に関するご相談など、介護に関するさまざまな困りごとについても、お気軽にご相談ください。

ベテルケアプランセンターでは、「その人らしい暮らし」を大切にし、ご本人とご家族の気持ちに寄り添うことを基本としています。地域の皆さまに信頼される身近な相談窓口として、安心して在宅生活を続けていただけるよう、誠実で丁寧なケアマネジメントを心がけています。

介護について「何から相談したらよいか分からない」という段階でも構いません。小さな不安や疑問にも耳を傾け、ご本人とご家族が安心してこれからの生活を考えていけるよう、一緒に考え、支えてまいります。



（ベテルケアプランセンター所長 三舛 延子）

外来診療日のお知らせ

◎ 豊田 泰孝 医師（精神科・心療内科）

10月14日（水）、10月28日（水）

◎ 10月の休診（9月30日現在）

10月7日（水） 三好 浩輔 医師（内科）



松山ベテル病院では、接遇目標・医療安全推進目標をかかげています

10月接遇目標



接遇委員会

9月・10月 医療安全推進目標



医療安全委員会

新人紹介

ひろふじ
廣藤

あきのり
昭則



配属部署：施設管理課

職 種：夜警員

抱 負：皆さまが安心・安全に過ごせるよう責任感をもち正確で丁寧な業務に取り組んで参ります。



うえだ
植田

らく
楽



配属部署：リハビリテーション課

職 種：作業療法士

抱 負：患者さまの声に耳を傾け、お役にたてるよう励みます。ご指導よろしくお願ひいたします。



掲示物紹介



多くのボランティアさんに
支えられています。
いつもありがとうございます。
(1階：薬局前掲示版)

- ・ 投句箱を外来・各病棟に設置しています。皆様のご投句をお待ちしております。
- ・ 『ベテル通信』について、ご意見やご要望を「ご意見箱」へお寄せください。
- ・ 掲載中の写真についてはご本人、ご家族の許可を得ています。